



THE NORTH FACE EXPLORATION TOUR



写真家・石川直樹と行く 世界の8,000m 峰14座

[シッキム ヒマラヤカンチェンジュンガトレッキング11日間]

8,000m 峰全14座の麓の文化や暮らしから
その山頂に至るまでを中判フィルムカメラを携え、
記録してきたTHE NORTH FACE Athlete/写真家 石川直樹。
このツアーで、石川氏と一緒にかの地を訪れ、
彼のその壮大な旅の記録と記憶の一端に触れてみませんか。

お申し込みは
こちら

応募期限:8月16日(日)

※申込後に応募動機を必ずご記入いただきます。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

発着地
東京

宿泊高度
4,030m

出発日-帰国
10/20(火) - 10/30(金)

歩行時間
約5時間 - 9時間

宿泊施設
ホテル/ロッジ/テント

旅行代金
¥698,000

当ツアーにご参加いただく皆様には、
THE NORTH FACE より、
ヒマラヤ遠征を支える選りすぐりのアイテムを
特典として進呈いたします。

※いずれの商品もカラーはお選びいただけません。

BC ダッフル M
(NM82367)

数々のエクスペディションを支えてきた、優れた耐水性と圧倒的な耐久性を誇るダッフルバッグ。



GORE-TEX Light CAP
(NN02501)

ePE GORE-TEX を使用した軽量の防水キャップ。





THE NORTH FACE EXPLORATION TOUR



ゾングリからのカンチェンジュンガ山群



チベット仏教の村ツォカ



ゾングリから左からバンディム、ジョブノーを望む



広大な放牧場のゾングリ高原

Message from
Naoki Ishikawa

「自分のヒマラヤでの経験を、写真や文章とはまた別の形で、現地に行って皆さんとシェアできるのは本当にうれしいです。ヒマラヤの移り変わりを見つめてきた自分にとっても、その後の14座を知る貴重な機会となり、ぼく自身がとても楽しみにしています。初めての方も歓迎しますし、この旅を入口にして、さらに深いヒマラヤ世界へと入って行ってほしいな、と思っています。ぜひ一緒に歩きましょう」

——— 石川直樹

Profile



石川直樹・いしかわなおき／1977年生まれ 東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。高校2年生のときにインド、ネパールをひとり旅して以来、都市の混沌から人を寄せ付けない極地に至るまでカメラを手に旅を続ける。毎年ヒマラヤの高所へ通い、中判フィルムカメラを携えて8000m峰に登頂、撮影することで、他に類を見ない無二の作品を生みだしている。2008年日本写真協会賞新人賞、講談社出版文化賞を受賞。2011年、第30回土門拳賞。著書に開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒険家』（集英社）ほか多数。2016年に水戸芸術館ではじ

まった大規模な個展『この星の光の地図を写す』が、新潟市美術館、高知県立美術館、北九州市立美術館、東京オペラシティなどに巡回。同名の写真集も刊行された。こうした活動が評価され、2020年、日本写真協会賞作家賞を受賞。2020年には『アラスカで一番高い山』（福音館書店）、『富士山にのぼる』（アリス館）を出版し、写真絵本の制作にも力を入れている。近年は、8000メートル峰14座すべてを撮影すべくネパールやパキスタンに通い、2024年10月に登頂したシシャバンマで14座を全座登頂を果たす。近著『最後の冒険家』（新潮社）で、読売文学賞を受賞。



THE NORTH FACE EXPLORATION TOUR

日程	発着地	スケジュール / 食事【宿泊地】
1 10/20(火)	東京(羽田):発 デリー:着	(午前08時頃集合予定)午前、東京(羽田)全日空837便、11:00発、空路、インドの首都ニューデリーへ。ニューデリー16:30着。 着後、専用車で空港近くのホテルへ。 機 デリー泊 H
2 10/21(水)	デリー:発 バグドグラ:着 / 発 ガントク:着	朝、国内線にてバグドグラへ。専用車でシッキム州の州都ガントクへ。 (所要時間約5時間、123km) 朝 昼 夕 ガントク泊 H
3 10/22(木)	ガントク:発 ヨクサム:着	専用車で、シッキム王国発祥の地といわれるヨクサム(1,785m)へ。 (所要時間約5時間、120km) 朝 昼 夕 ヨクサム泊
4 10/23(金)	ヨクサム:発 トレッキング 1日目 ツォカ:着	トレッキング開始。渓谷沿いの深い樹林帯の山道を辿り、尾根に取り付きバックキムを経て、チベット移民村で最奥の村ツォカ(3,005m)へ登ります。 (トレッキング所要時間徒歩約9時間) 朝 昼 夕 ツォカ泊 LまたはT
5 10/24(土)	トレッキング 2日目 ツォカ:発 ゾングリ:着	シャクナゲの尾根をフェダン(3,300m)を経て、カンチェンジュンガをはじめシッキム・ヒマラヤの大パノラマを眺めながら、ゾングリ(4,030m)へ。 (トレッキング所要時間約7時間) 朝 昼 夕 ゾングリ泊 T
6 10/25(日)	トレッキング 3日目 ゾングリ滞在 ゾングリ峠往復	午前、背後の好展望地の丘(4,130m)をおうふくします。展望地からは、カンチェンジュンガの展望が広がります。その後、ゾングリの緩やかな高原大地を登り、カプルー、ロータンの山々を望むゾングリ峠(4,300m)を往復(トレッキング所要時間約5時間) 朝 昼 夕 ゾングリ泊 T
7 10/26(月)	トレッキング 4日目 ゾングリ:発 ツォカ:着	午前、天候予備日。午前または午後、往路をツォカへ下ります。 (トレッキング所要時間約5時間) 朝 昼 夕 ツォカ泊 LまたはT
8 10/27(火)	トレッキング 5日目 ツォカ:発 ヨクサム:着 / 発 ペリン:着	ヨクサムまで下り、トレッキング終了。(トレッキング所要時間約6時間)専用車で、カンチェンジュンガ山群を望む山岳リゾート地ペリン(2,085m)へ。ペリンからは、カンチェンジュンガの展望が広がります。(所要時間約2時間、50km) 朝 昼 夕 ペリン泊 L
9 10/28(水)	ペリン:発 バグドグラ:着 / 発 デリー:着	早朝、専用車でバグドグラへ。(所要時間約5時間、137km) 国内線にてデリーへ。着後、市内のホテルへ。 朝 昼 夕 デリー泊 H
10 10/29(木)	デリー:発	午後の出発まで、デリー市内観光を楽しみます。 午後、全日空838便にて、ニューデリー18:55発、帰国の途へ。 朝 昼 機 機中泊
11 10/30(金)	東京(羽田):着	朝、東京(羽田)、05:55着。解散。 機 機中泊

※上記の日程は、航空会社の都合や現地事情により変更になる場合があります。 ※H=ホテル L=ロッジ T=テント

- 燃油サーチャージ(2026年7月1日現在:目安約80,800円)が別途必要です。
今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内します。
- インドビザ(=実費2.5USドル+申請料4,400円、2026年6月10日現在、手数料、消費税込み)の取得が別途必要になります。
- 日本国内の空港施設使用料及び旅客保安サービス料、国際観光旅客税等は、旅行代金に含まれておりません。
- ツアーリーダー(添乗員):東京(羽田)から東京(羽田)まで同行します。
- 最少催行人数10名(定員15名)
- 食事:朝9回、昼9回、夕8回
- 利用予定ホテルBクラス以上:デリー/デヴェンチュアホテルおよびハンズホテル
ガントク/ヤンタンヘリテージ又はウダハーン・キープサ・レジデンス
- 一人部屋利用追加料金:¥92,000(テント泊も含む、ヨクサムのロッジ泊は含まない)
- 利用予定航空会社:全日空(国際線部分)

※石川直樹さんは日程2日目のデリーから日程9日目のデリーまで同行します。

※トレッキング:現地ガイド、ポーター、コックが同行。※行動範囲:1,785m~4,300m、最高宿泊地4,030m、高山病の影響ややあり。
※トレッキングのテント泊に必要なテントやマットレス、寝袋、食器等は弊社又は現地にてご用意しております。

応募期限: 8月16日(日) ※

お申込み時に、応募動機および登山歴をご記入いただいた上で、ご参加の可否を決定させていただきます。※本コースでは、標高4,000m以上に宿泊(2泊)するため、高山病のリスクがあります。正式にご参加が確定した段階で、人間ドッグ等の健康診断書を提出していただけます。さらに必要に応じて、追加で弊社指定の医療機関への検診等を追加をお願いする場合がございます。※応募期限を変更する場合があります。

お問い合わせ・お申し込み



観光庁長官登録旅行業第490号/一般社団法人日本旅行業協会 正会員

ALPINE ツア サービス 株式会社

本社 / 〒284-0001 千葉県四街道市大日420-3 (八洲ビル2階)

☎043(290)9699 ✉info@alpine-tour.com

www.alpine-tour.com

総合旅行業務取扱管理者 亀田広明